

AsiaNet 43505

☆共JBN 外0276 (産業、水素) (11・3・1)

【産業担当デスク殿】43505

◎岩谷産業に固体水素貯蔵技術を提供 マクフィー社

【東京1日 PRN=共同 JBN】固体水素の貯蔵技術をリードするマクフィー・エネルギー社 (McPhy Energy) はこのほど、日本の水素供給でトップシェアを持つ岩谷産業株式会社に対し4キロの固体水素貯蔵ソリューションを提供する契約に署名したと発表した。マクフィー社のシステムでは水素は水素化マグネシウムの形で貯蔵され、圧縮する必要がない。その結果、安全で完全リサイクル化が可能な革新的な水素貯蔵ソリューションとして高いエネルギー効率を得ている。

マクフィー社は日本の岩谷産業の敷地内に産業用水素貯蔵装置のシステム一式を設置する予定。両社は東京で開催された2010年国際水素・燃料電池展 (International Hydrogen and Fuel Cell Expo) で初会合をもったが、そのちょうど1年後に契約の運びになった。その間、岩谷産業の専門家は仏国立科学研究センター (CNRS)、フランス原子力・代替エネルギー庁研究所 (CEA) の研究施設を訪れ、マクフィー社システムの評価を行ってきた。

岩谷産業の水素部門で働くスタッフの一人は「岩谷産業は安全、安価、高い信頼性がある水素を供給し、今後日本が目指す水素化社会をリードする。マクフィー社が提供する水素

貯蔵ソリューションはこのビジネスが抱える大きな問題に対して説得力のあるソリューションになる」と述べた。

マクフィー・エネルギー社最高経営責任者（CEO）のパスカル・モーベルジェ氏は「マクフィー・エネルギー社としては日本の水素事業をリードする岩谷産業が当社の固体水素貯蔵システムを精査の対象に選んでくれたことは名誉なことだと考えている。今回の出来事はダイナミックで最も重要な日本の水素市場に当社が初めて進出することを意味しており、世界のそれぞれの有望市場で業界リーダーと共同しながらビジネスを進めていく当社の戦略にとって重要なマイルストーンになるものだ」と語った。

マクフィー・エネルギー社は2011年3月2日から4日まで東京ビッグサイトで開催される第7回国際水素・燃料電池展（FC EXPO 2011）の部品・材料ゾーンに出展する予定。

▽マクフィー・エネルギー社（McPhy Energy S.A.）について

マクフィー・エネルギー社は水素化マグネシウムを使った革新的な固体水素貯蔵技術を産業化、商業化することを目的に2008年に創立された。この技術は他の水素貯蔵ソリューションに比べ、ほかにはないメリットを持っている。この技術は特に水素の商業利用、再生可能エネルギー市場に向けて開発された。マクフィー社は一連のユニークな特許の独占的な権利を所有しているが、これらは仏国立科学研究センター（CNRS）とフランス原子力・代替エネルギー庁（CEA）がジョセフ・フーリエ大学との提携のものに行った8年

間の研究の成果である。マクフィー・エネルギー社は産業クラスター「TENERRDIS ( 技術・エネルギー・再生可能・新エネルギー、ローヌ・アルプ、ドローム・イゼール・サヴォア地方 ) 」のメンバーになっており、多くの研究プロジェクトにパートナーあるいは下請け企業として参加している。詳しい情報はウェブサイト ( <http://www.mcphy.com> ) を参照。

▽岩谷産業株式会社について

岩谷産業は 1930 年の設立以来、日本国内ならびに海外で多様な事業分野で発展してきた。その中にはエネルギー、産業ガス、エレクトロニクス・機械、材料、アグリバイオ・食品などがある。「ガスとエネルギー」を企業理念としている岩谷産業は特に液化石油ガス ( LPG ) 、液化天然ガス ( LNG ) 、水素の市場への供給に力を入れてきた。詳しい情報 ( 英文 ) はウェブサイト ( <http://www.iwatani.co.jp/eng/index.php> ) を参照。

( 了 )